

平成 29 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会 質疑応答の要約

2017 年 7 月 31 日（月）に開催した、決算説明会において、出席者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。代表取締役会長兼社長 グループ代表の熊谷、同 CFO 安田より回答させていただきました。

【Q1】 コストに関して、税負担増の原因は？またその他の費用が増えているが？

【A1】 税負担増の要因は事業上の経過を見ないと税効果を取れないものが約 4 億ほどありました。こちらは下期から来期にかけて、事業が上向いた段階で税効果を認識できるものですので、税負担の改善を図っていきたいと考えています。

その他の費用については、前年同期比で約 28 億増加しております。主な要因はその他事業におけるブランディングのためのイベント費用、GMO 後払いにおける引当金の計上、海外新規連結子会社（マクロキオスク）のコストなどです。なお、ブランディングコストは一時的なもので下期には発生しません。

【Q2】 通期業績予想について、下期のハードルが高く見えるが、キャッチアッププランは具体的にどう考えているのか？

【A2】 金融の遅れは 2Q 以降改善をしています。また、インフラのモメンタムも期初想定を上回るかたちで引き続き推移しており、下期にどれだけ積み上げていけるかがポイントだと考えています。

【Q3】 金融事業の利益率の改善状況について、どうなっているのか？

【A3】 金融事業は、「収益率×取引量」がベースとなる考え方になります。1Q は取引量は大きかったのですが、収益率が問題となり、低調な利益水準となりました。2Q は、収益率は大幅に改善したものの、取引量自体は低調に推移した中での業績回復となりました。下期以降、取引量が増えた場合には、現状より利益が拡大することを期待しています。

- 【Q4】 下期にかけて「.shop」がアップサイドになると考えている。成長戦略を教えて欲しい。
- 【A4】 全世界のレジストラとキャンペーンを打っています。また、ECカートなどのサービス事業者に導入いただく活動を実施しており、仕組みで戦略的に伸ばしていく考えです。
- 【Q5】 来春のネット銀行の開業に向けた課題や足元の進捗状況について教えてほしい。
- 【A5】 来るべき新しい時代の金融にフィットしたテクノロジーオリエンテッドなネット銀行を目指し、エンジニアのリソース、UI/UX のエキスパートを集めて開発に集中しています。まずは開業に向け、基本設計に注力しているところですが、将来的には Cash less、IoT、AI との組み合わせなど、最新鋭の仕組みを提供する銀行を作っていきたいと考えています。また、各種機能を API として開放し、新たなサービスに繋げていけるような銀行にするべく、どう差別化を図るのか、どう業務を開放していくのかについて、新ネット銀行の母体となるあおぞら信託銀行のメンバーと現在議論しています。

以上
